

千種区フォトコンテスト応募規約

名古屋市千種区役所地域力推進課が主催する「千種区フォトコンテスト「好きです、千種区。」」(以下、本コンテストといいます)に応募される方は、本規約をよくお読みいただき、同意の上応募してください。本コンテストに応募された場合は、本規約に同意したものとみなします。

1 応募期間

令和7年5月1日(木)～令和7年10月31日(金)

2 テーマ

あなたの「好き」が伝わる千種区の写真

①城山・覚王山エリアの写真

②その他千種区の好きな場所・風景等の写真

※城山・覚王山エリアについては、P6～をご覧ください。

3 応募資格

- ・プロ・アマチュア、年齢、性別、住所、国籍を問わず、どなたでも可。
- ・応募者本人が撮影したものに限りします。
- ・応募作品は静止画に限りします。
- ・合成写真は不可としますが、画像の加工(フィルタなど)は可とします。
- ・未成年の方は保護者の同意が必要です。未成年の方が応募された場合は、保護者の同意が得られているものとみなします。

4 応募方法

次の2種類の方法により受け付けます。

【A】 Instagramで のご応募	①千種区名所案内Instagramアカウント (@chikusaku_meishoannai)をフォロー ②撮影した写真に下記を付けて投稿 #千種区フォトコン2025 #好きです千種区 #撮影場所 #好きです城山覚王山 ※テーマ①「城山・覚王山エリア」へ応募の場合 ※応募期間内に投稿された作品に限りします。過去の投稿を応募いただく場合は、編集ではなく新規投稿としてください。 ※応募期間内にInstagramアカウントを「非公開」に設定している場合は応募が無効になります。 ※同一人物による複数アカウントからのご応募はご遠慮ください。
------------------------------------	--

【B】 応募フォーム (LoGoフォーム) でのご応募	応募フォーム(LoGo フォーム)に下記の事項を入力し、応募してください。 【応募フォーム(LoGoフォーム)URL】 https://logoform.jp/f/zZMGR ①氏名(フリガナ) ②ニックネーム ③電子メールアドレス ④応募者コメント ⑤JPEG 形式の写真ファイル(1回につき5枚まで) ⑥撮影場所 ※応募フォーム(LoGo フォーム)で応募いただいた写真は千種区名所案内Instagramに応募者ニックネーム・コメントを付けて投稿します。 ※1回で5枚(合計10MB)まで写真を応募いただくことができます。5枚(合計10MB)を超える場合は、複数回に分けて応募してください。
---	--



▲応募フォーム
(LoGo フォーム)

【A】【B】 共通事項

- ・異なる写真であれば、何回でも応募可能です。
- ・応募受領の通知は行いませんのでご了承ください。
- ・アカウント名、ニックネームは商標権等の第三者の権利を侵害しないものとしてください。
- ・過去に撮影した写真の場合は、現在も同様のものを見ることができる写真としてください。
- ・立ち入り禁止、撮影禁止場所での撮影はしないでください。
- ・応募に要する一切の費用は応募者の負担となります。
- ・電子データでの応募に限ります。紙媒体、郵送や持参での応募は受け付けておりません。
- ・応募作品の撮影に当たっては、第三者の肖像権、著作権その他諸権利を侵害することのないようにしてください。
- ・応募にあたっては、自身が応募することについての適切な権利を有していること及び応募作品が肖像権などの第三者の一切の権利を侵害していないことを主催者に対し表明し、保証するものとします。応募作品に関して、主催者は一切責任を負いません。

5 結果発表

入賞数 ①、②それぞれ5作品 計10作品

発表時期 令和7年12月頃(予定)

※入賞者には千種区マスコットキャラクターこあらっちグッズ等をプレゼントします。

※入賞作品は区ウェブサイトやInstagram等で発表します。

6 審査手続き

- ・千種区役所地域力推進課が指名した審査員による審査のうえ、入賞候補作品を決定します。
- ・審査後、入賞者の方にInstagramのダイレクトメッセージまたは電子メールにて、入賞の連絡をいたします。入賞手続きに必要な情報をご返信いただくと入賞確定となります。
- ・Instagramから応募される方については結果発表まで公式アカウントのフォローを外さないようにお願いします。また、プロフィールの非公開設定をONにされている方へは、ダイレクトメッセージをお送りできませんのでご注意ください。
- ・入賞の連絡後、指定日までに連絡がつかない場合、商品の発送に関する必要事項の連絡がなかった場合、募集要項及び応募規約を遵守していない場合、入賞者の住所変更や不在などにより商品の受け取りができない場合には、入賞を無効にさせていただきます。
- ・賞品の発送は日本国内に限ります。
- ・入賞の権利は、第三者へ譲渡することはできません。
- ・応募結果、受賞確認及びその他の選考に関するお問い合わせには一切お答えできません。
- ・重複入賞(同一人物による応募作品が複数入賞すること)は不可とします。
- ・過去の「千種区名所案内フォトコンテスト」「千種区みちくさフォトコンテスト」入賞作品は審査対象外といたします。
- ・他の印刷物、展覧会等で使用されているものは審査対象外といたします。

7 応募作品の二次利用等

- ・応募いただいた写真は区ウェブサイト、公式SNS、発行物などに掲載させていただくことがあります。使用にあたり個別にお知らせすることはございませんので、二次利用をご承諾いただける方のみご応募をお願いします。
- ・二次利用にあたっては、タイトル、作者名等の表示やトリミング加工などは主催者が自由に行えるものとします。

8 禁止事項

- ・本コンテストへのご応募に際して、以下の行為を禁止いたします。主催者は、応募者が以下に該当する行為または該当する恐れのある行為を行ったと判断した場合は、応募者に断りなく、投稿やコメントの全部または一部を削除することがあります。
 - ①本規約に反する内容
 - ②特定の個人、企業、国、地域を誹謗中傷、あるいはそのプライバシーを侵害する、またその恐れのある内容
 - ③他者になりすますなど、虚偽や事実と異なる内容
 - ④営利を目的とした行為、特定サイトやアドレスの掲示などの情報提供・宣伝・勧誘行為を含む内容

- ⑤政治、選挙、宗教活動を目的とした内容
- ⑥著作権、商標権、肖像権などの主催者または第三者の知的財産権を侵害する恐れのある内容
- ⑦犯罪行為に結びつく、または法令等に違反する、また、その恐れのある内容
- ⑧公序良俗に反する、または反する恐れのある内容
- ⑨有害なプログラム
- ⑩わいせつな表現などを含む不適切な内容
- ⑪本コンテストの適正な運営を妨げる恐れのある内容
(同一内容の複数回投稿や投稿内容と無関係のURL 等を記載する投稿、データが判読不能な内容など)
- ⑫Instagram の利用規約に違反する投稿
Instagram利用規約
<https://help.instagram.com/478745558852511>
- ⑬本コンテストの趣旨に合わないなど、その他主催者が不適切と判断する投稿

9 個人情報の取扱いについて

- ・本コンテストでの個人情報の収集・利用・管理については、個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)及び名古屋市個人情報保護条例(令和4年名古屋市条例第56号)に基づき適切に管理し、応募者への連絡および入賞者への賞品発送の目的以外には利用いたしません。
- ・通信上のリスクをご理解の上、本コンテストにご応募ください。万が一、第三者の不正アクセス等の違法行為により個人情報が漏洩した場合については、主催者に過失がない限り一切責任を負いません。

10 注意事項

- ・本コンテストの応募に関連して応募者と第三者との間に紛争が発生した場合には、応募者は、自身の責任と費用で当該紛争を解決するものとし、主催者は一切の責任を負いません。
- ・本コンテストの応募に関連して発生した応募者または第三者の損害について、主催者は一切の責任を負いません。
- ・応募者が本規約の定めに違反したことで主催者および名古屋市に損害を与えた場合、主催者は当該応募者に対し、相応の損害賠償の請求ができるものとし、これにより応募者が被った損害について、主催者は一切の責任を負いません。
- ・本コンテストサイトの利用または利用停止もしくは不能により生じる損害につき、主催者は一切の責任を負いません。(Instagram のサーバーダウン等を含む)
- ・応募者が本規約に違反していると主催者が判断した場合、本コンテストにおけるコメントの削除等、主催者が必要と判断する措置を取ることができるものとし、これにより応募者が被った損害について、主催者は一切の責任を負いません。
- ・本コンテストは、Instagramが支援、承認、運営、関与するものではありません。
- ・本コンテストに応募するにあたり、応募者は主催者の運営方法に従うものとし、その

運営方法について一切異議を申し立てないものとします。

- ・本コンテストに関していただきましたご意見、お問い合わせに対しまして、個別対応は原則行いませんので、あらかじめご了承ください。
- ・本コンテストは予告なく終了する場合があります。
- ・主催者が必要と判断した場合には、予告なく本規約を変更できる他、本コンテストの適正な運用を確保するために必要なあらゆる対応をとることができるものとします。

城山・覚王山地区について

(1)地区の位置

市営地下鉄東山線が地区を東西に横断しています。地区の東端は概ね本山駅まで、西端は概ね池下駅までの範囲です。北は概ね東山給水塔付近、南は概ね椋山女学園中学高等学校付近までの範囲です。



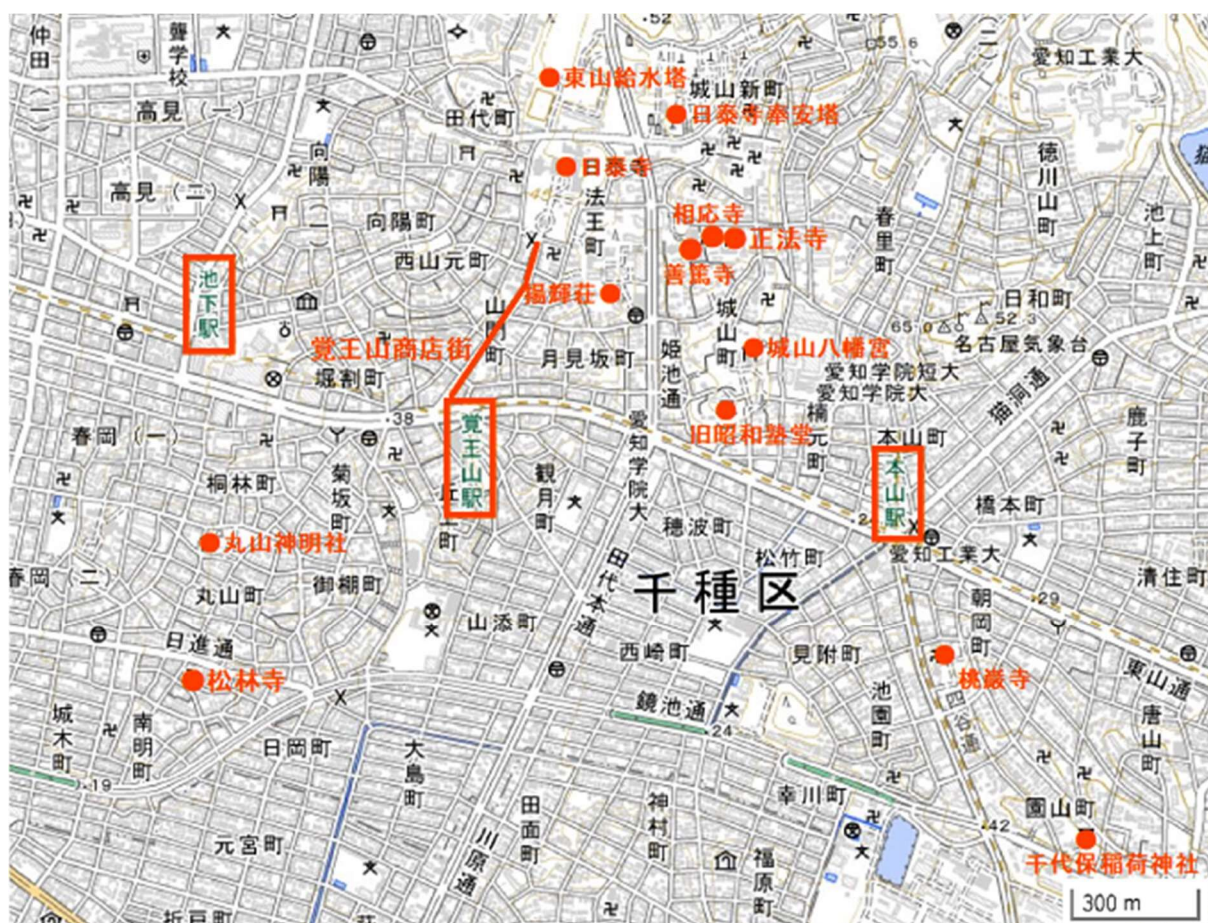
(2) 主な魅力スポット

歴史資源	写真	概要
日泰寺 (にったいじ)		明治33年(1900)、シャム(現タイ国)の国王から贈られた釈迦の御真骨を安泰するために、明治37年(1904)に建立された寺です。日本で唯一どの宗派にも属していない寺院で、本堂、山門、五重塔、鐘楼など見事な伽藍をほこっています。毎月21日に開催される縁日は多くの人でにぎわい、参道にもおしゃれなお店が立ち並んでいます。

日泰寺奉安塔 (にったいじほうあんとう)		高さ15mのガンダーラ様式の花崗岩仏塔で、仏塔には仏舎利(釈迦の遺骨)が安置されています。県指定文化財です。
覚王山商店街 (かくおうざんしょうてんがい)		地下鉄覚王山駅から日泰寺へつながる参道を中心に広がる商店街です。覚王山春祭、夏祭、秋祭など1年を通してイベントが多数開催されています。
揚輝荘 (ようきそう)		松阪屋の初代社長である15代伊藤次郎左衛門佑民(いとうじろうざえもんすけたみ)氏の別荘として、大正から昭和初期にかけて建築された、近代名古屋における郊外別荘の代表作です。完成時(昭和14年頃)には、約一万坪の敷地に三十数棟の各種建造物が立ち並んでいました。 現在は、地階に壁画のある山荘風建物「聴松閣(ちようしょうかく)」や尾張徳川家ゆかりの座敷に洋室等を合築した「伴華楼(ばんがろう)」、池泉回遊式の庭園などが残っており、5棟の建造物が市指定有形文化財となっています。 北園の庭園は入場無料、南園の聴松閣は観覧料が必要です。開園時間など詳しくはウェブサイトをご覧ください。
相応寺 (そうおうじ)		寛永19年(1642)現在の名古屋東区山口町に創建され、昭和9年(1934)に現在地に移転しました。初代尾張藩主徳川義直が生母である相応院お亀の方の菩提を弔うために創建されました。総門・山門と本堂の扁額(へんがく)は義直の自筆です。本堂・総門・山門は市指定有形文化財となっています。

城山八幡宮 (しろやまはちまんぐう) 末森城址 (すえもりじょうし)		城山の森一帯には、織田信長の父信秀が築いた末森城がありました。信秀の後を継いだ息子の信行が兄信長に滅ぼされ、わずか10年ほどで廃城となりました。 この城址に昭和11年(1936)に建てられたのが城山八幡宮です。本殿裏手には市内最大級のアベマキの古木の連理木が見られ、縁結びのご神木として人気があります。 ※連理木とは、1本の木が途中で2つに分かれた後再び1本にくっついている木のことで、縁起が良いとされています。
旧昭和塾堂 (きゅうしょうわじゅくどう)		昭和3年(1928)に青年向けの社会教育の場として愛知県が建設しました。四層の高塔は八角集中堂を模し、望楼風になっており、地域のランドマークとなっています。 ※敷地内への立ち入りはできません。
善篤寺 (ぜんとくじ)		もとは美濃にあり、清洲越しで中区大須に移った後、昭和13年(1938)に現在地に移りました。山門は清洲越し以来のものです。境内には筆塚があります。
正法寺 (しょうぼうじ)		昭和22年(1947)、尼僧学林がここに再建され、後に愛知専門尼僧堂、特別尼僧堂も建立され、厳しい仏門修行が続けられています。
松林寺 (しょうりんじ)		元亀2年(1571)現在地に創建。本堂は嘉永6年(1853)に建てられたといわれており、市登録地域建造物資産となっています。江戸時代丸山村にあった唯一のお寺です。御本尊は薬師瑠璃光如来で、創建以来のものとのことです。

千代保稲荷神社 (ちよほいなり じんじゃ)名古屋支所		「おちょぼさん」の愛称で親しまれる千代保稲荷神社(岐阜県海津市)の名古屋支所です。無数の鳥居は桜の時期に絵になると評判です。商売繁盛の祈願に訪れる人が多く、本殿前の重軽石は、重く感じるか軽く感じるかで、願い事の成就を占うことができます。
桃巖寺 (とうがんじ)		織田信秀の菩提寺として息子の信行が建立しました。本尊は聖観世音菩薩、守護神は弁天像です。中でも音楽や芸事にご利益があるといわれている「ねむり弁天」は有名です。境内には、座高10mの青銅製の名古屋大仏などがあります。
東山給水塔 (ひがしやまき ゅうすいとう)		日泰寺の北、鉤薬師の東の小高い丘の上にツタのからまったネギボウズのような形をした塔が見えてきます。これは昭和5年(1930)に建設され、43年間、付近一帯に水を配水するための配水塔でした。現在は、災害用の飲料水供給施設となっています。 ※一般開放はされていません。



魅力スポットの位置図